※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和４年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校公共これからの社会について考える」　（数研出版）						
副教材等	「テーマ別資料公共 2022」　（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会のしくみについて学ぶと、テレビや新聞などで見る社会や、自分たちの周りの社会をもっと具体的に知ることができます。「ニュースを見るのが楽しくなる。」そんな授業をしていきましょう。

２　学習の到達目標

① 現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断 するための手掛かりとなる概念や理論に ついて理解するとともに，諸資料から， 倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

② 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し 公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

③ よりよい社会の実現を視野に，現代の諸 課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や 深い理解を通して涵養される，現代社会 に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について，事実を基に概念 などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主 体的に解決しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち 第1章公共的な空間における人間としてのあり方	1 大人ってどんな人？ 2 お互いを理解し尊重するために 3 誰もが生きやすい社会へ 第 1 節 西洋近現代 の思想 第 2 節 現代の諸課 題と倫理	a: 青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを 理解できている。 2 伝統や文化，宗教などを背 景にして現代の社会が成り立っていることが理解でき ている。 ・古代から近代の日本の思想 家の思想内容が理解できている。 ・自分たちが生きる社会が，様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 b:自己形成の課題について考察できている。 ・先哲の思想や伝統，文化，宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究できている。 c:自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。 ・自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり，様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 ・自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。 a:・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 ・地球環境問題，資源・エネ ルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 b:・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 c:・選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 グループワーク レポート	ワークシート 授業内発表 グループワーク レポート

※令和４年度以降入学生用

	生き方					
	第2章 公共的な空間における基本原理	第 1 節 民主社会の基本原理 第 2 節 日本社会の基本原理	a: ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配， 自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解できている。 ・日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 b: ・このような基本的原理を考 察することによって，個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し，公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができ ている。 c: ・民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき，自らの生き方と権利を結びつけることができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 グループワークレポート	ワークシート 授業内発表 グループワークレポート
2学期	第3章 ルールをつくり守る私たち	第 1 節 法と契約 第 2 節 司法参加の 意義	a: ・法や規範の意義や役割が理解できている。 ・公正な裁判には司法権の独立が必要であり，国民の参加が大切であることが理解できている。 b: ・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど，身近な契約の例を挙げることができる。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 c: ・身近な紛争状況を設定し，それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。 ・模擬裁判などを通して，司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 グループワーク レポート	ワークシート 授業内発表 グループワーク レポート

※令和４年度以降入学生用

	第４章 政治に参加する私たち	第 1 節 政治参加と民主政治の課題 第 2 節 国際政治の動向 第 3 節 国際政治の課題と日本の役割	a: ・地方自治や選挙の仕組み，政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。・核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。・現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 b: ・選挙制度の違いによって，政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。・自分が理想とする選挙制度を選択することができる。 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。・国連の現状と課題について考察できている。 ・留学生や国際 NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断できている。・国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できている。 c:・模擬投票などを通して，選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができている。 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持てている。・留学生や国際 NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について主体的に追究できている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 グループワーク レポート	ワークシート 授業内発表 グループワーク レポート
3学期	第５章 経済活動を行う私たち	第 1 節 経済のしくみと産業の変化 第 2 節 市場経済のしくみと金融	a: ・現代の企業の果たしている役割が理解できている。・中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。・産業構造の変化と職業選択との関係や，雇用・労働問題について理解できている。 ・市場経済のメカニズムが理解できている。・各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解くことができている。・金融のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 b: ・現代の企業倫理について考察できている。・経済のサービス化が進展し，国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。 ・需給曲線を使って，どのような場合に価格が変動するのか考察できている。・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断できている。 c:・AI や IT などの先端技術が発展するなかで，自分の進路や職業選択を考えることができている。 ・経済社会に主体的に生きる一員として，今後の日本経済について見通しがたてられている。・商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し，合理的な消費行動がとれている。 ・超低金利時代に生きる一員として，今後の経済設計がきちんとたてられている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 グループワーク レポート	ワークシート 授業内発表 グループワーク レポート

※令和４年度以降入学生用

		第 3 節 財政と社会 保障 第 4 節 国際経済の 動向と課題	a: ・政府が経済に果たしている 役割を理解できている。 ・財政のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・社会保障について理解できている。 ・貿易や外国為替相場について，そのしくみが理解できている。・戦後の国際経済の流れが理解できている。 ・発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。 b: ・自身の老後生活を予想し，租税（支払い）と社会保障 （受取り）とのバランスを考察できている。 ・経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し，それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 c: ・日本の経済について課題を発見し，解決する見通しが持てている。 ・自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを 自覚できている。・格差のある国際社会で，その克服のために自らがどのようなことができるか考え，実行しようという意欲を持つことができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 グループワークレポート	ワークシート 授業内発表 グループワークレポート
	課題探究編 持続可能な 社会づくり の主体となる私たち	課題探究の 観点 課題探究の手引き	a: ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できている。 ・現代社会の諸問題について，その問題の所在，現状，問題点などが理解できている。 ・現代社会の諸問題について，探究するための資料を収集・選択し，的確に分析できている。 b: ・現代社会の諸問題の解決の ために，事実を基に協働して考察，構想することができている。 ・現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し，その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現できている。 c:・さまざまな課題の中で，自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し，探究できている。 ・それぞれが選択した課題について，今後も継続して探究しようという意欲を持つことができている。 ・現代社会の特質から生じる価値の対立について，討論やディベートなどさまざま な方法を活用して主体的に探究できている。	ワークシート 定期考査	ワークシート グループワーク レポート	ワークシート 授業内発表 グループワーク レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度